

1984・7月

第 2 号

# しろこぼと

日本野鳥の会埼玉県支部



## 埼玉の地を良い自然環境に

日本野鳥の会埼玉県支部副支部長 鈴木 忠 雄

この度、新しく支部が誕生し、おめでとう  
ございます。新支部は、野鳥を観察して楽し  
む人、いわゆる趣味的な人、あるいは野鳥を  
通して自然保護に取りくむ人、あるいは子ど  
もさんの情操教育を目的とする人、あるいは  
野鳥を勉強する人など各人各様の方がたを受  
け入れる団体ですから、お気軽に入会されま  
すようお願い申し上げます。

そして、楽しい有意義な探鳥会にしてゆき  
ましょう。

最近、利根川や荒川に、白鳥が渡来するよ  
うになりました。これは、良い環境のパロメ

ーターでありますので、この環境を守り、さ  
らに良い環境にするよう、皆さんと一緒に頑  
張りましょう。

しかしながら、時は移り、ますます世が複  
雑化しますと、意見の相違が生じ、一団体が  
二つにも三つにも分かれてしまうことがあり  
ますが、目的は同じなので、友好的に  
やってゆきましょう。容易に統合できない南  
北朝鮮のように、また、東西ドイツのよう  
にはしたくありません。皆さんは、各団体に自  
由に入会され、納得のいく人生をすごされま  
すよう祈念いたします。

### 指 針

## 自 然 保 護 に 向 け て

季節は、すでに盛夏。野鳥たちには、今、  
子育てに専念するところとなりました。韋原で  
は、この時季の風物詩・オオヨシキリがギョ  
ギョシ、ギョギョシと、照りつける陽ざしに  
合せて、うるさいぐらいさえずっています。

会員の皆さんには、元気でおすごしのこと  
と思われまます。

新しい日本野鳥の会埼玉県支部が発足して、  
2カ月余を経過しました。すでに探鳥会を中心  
に活動を展開している現況ですが、これから  
のさらなる発展の指針になればと願いつつ、  
遅ればせながら改めて、本支部の考えを明らか  
にしておきたいと思ひます。

### 県内の自然保護運動に寄せて

まず、県内野鳥の会の組織が分断され、活  
動が弱まってしまうのではないか、という問  
題があります。

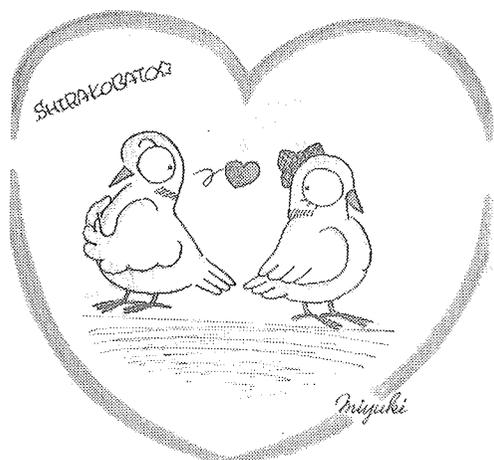
確かに、当面、いえ、ほんの数カ月はその  
ように見えるかも知れませんが、しかし、「(財)  
埼玉県野鳥の会の活動方法にはなじめないが、

日本野鳥の会の活動には参加したい」という  
県内の人には、新しい活動の場が得られるわ  
けです。そして一方、(財)埼玉県野鳥の会の  
活動方法に賛同される方はそのまま、活動を  
継続されればよろしいわけです。

つまり、それぞれの人がそれぞれの考えに  
基づいて活動できるということで、全体とし  
て、より多様な活動が蓄積され、埼玉県内  
での自然保護運動のたかまりに、大きく寄与  
できるのではないかと考えるわけです。

では次に、本支部と(財)埼玉県野鳥の会との  
交流や、将来の一体化などの見通しが、問題  
として考えられます。

私たちには、(財)埼玉県野鳥の会と対決する  
とかいうような気持、いえ、考えなど元々な  
いわけですから、お互いに交流ができればう  
れしい、とつくづく考えているところです。  
ただ残念なことに、(財)埼玉県野鳥の会会長氏  
が「日本野鳥の会(本部)は開発側で、(財)埼  
玉県野鳥の会は保護側である」というふうに  
日本野鳥の会のあり方を非難する発言をされ  
ている、という現状があります。この発言の



基本となる考え方が正しいかまちがっているか、の判断はともかくとしても、同氏などが日本野鳥の会に対して、このような認識に立っておられる限りは、現実問題として、交流とか、将来の一本化などは程遠く、困難なものと考えられます。

野鳥の会に不動産業者など、特定の業者が入ってはいけない、という理由など、どこにもないはずですが。職業によって、会員資格を問題にする考え方ではなく、むしろ、そのような人たちに逆に“自然”の大切さを知ってもらうことが大変重要なことではないのでしょうか。

現在のわが国の自然保護は、開発か保護かなどという、単純なものではなく、開発業者や狩猟者、農林業者なども含めて、その全英知を結集しなければ推進できないものです。

### 野鳥の会 とりわけ自然保護のために

最後になりましたが、日本野鳥の会のあり

方にふれながら、新しい日本野鳥の会埼玉県支部をなぜ設立させなければならなかったのか、を明らかにしなければなりません。

現役員（一年後の総会で、役員人事についても再検討の予定）即ち設立準備会のメンバーの間でも、そもそも法人化に疑問を持っていた者、法人化そのものには基本的に賛成だが、そこに至る過程に重大な疑問を持たざるを得なかった者など、法人化の問題を中心に、野鳥の会のあり方をめぐっての考え方がさまざまでした。しかし、埼玉県内での野鳥の会の組織運営のあり方について、(財)埼玉県野鳥の会のあり方に全面賛成をすることはできない、しかも、日本野鳥の会埼玉県支部がこのまゝなくなってしまうてはいけないという点では、認識が一致したわけです。

日本野鳥の会は、50年の歴史とともに、50年という年月なりの実績を重ねてきているのです。それとのつながりを失うということは、大変残念なことであり、自然保護の広がり逆効果をもたらすことにもなりかねません。会員の皆さんは、日本野鳥の会の50年の歩みをご存知と思います。

ですから、全国的なつながり、世界の鳥仲間とのつながりも、国境のない野鳥たちとつきあう私たちには、大切なことなのではないでしょうか。

私たちは、会員の相互理解と信頼を基礎として、会員の話しあいと総意に基づいて運営される、開かれた楽しい会になるように、共にガンバロウではありませんか。

(文責 海老原 美夫)

### アオバズク (フクロウ科)

県南地方の平地、特に荒川の東側沿いに広がる、いわゆる大宮台地一帯もまだ、決して捨てたものではありません。“武蔵野”をイメージさせる“鎮守の杜”が結構残っています。いや、昔、武蔵の国といわれた、本県の平野部すべてに的確な“鎮守の杜”には、必ずといっていいほど、老木があります。

老木の葉が、回りの青葉と同じように濃く繁ったところ、夕刻をすぎたから、少し上の方でホッホー、ホッホーとくり返す鳴き声を耳にしたことがあるでしょう。目が金色のリング状で耳がない、約29cmのフクロウ。

(表紙の写真と文・長 野 博 行)

バードウォッチング

## 野鳥へのアプローチ

### 鳥——すばらしき 自然の贈り物

為 貞 貞 人(浦和市)



“なぜ鳥を見るの”とよくまわりの人から問われるのは、私だけではないでしょう。

そのときいつも、想い出すのが一冊の本、岩波文庫のいささか厚手のW. H. ハドソンの『はるかかな国 とはい昔』です。訳者の寿岳しづさんが「自然界のもの、自然界のいじらしいもののためのみ、いつも自分の優しさを蓄えているような人」と紹介するハドソンは、1841年、南米アルゼンチンに生まれ、1875年にイギリスに渡った自然文学者です。この本は、少年時代を送った南米の平原での鳥をはじめ、あらゆる自然との交わりを愛惜をこめて回想したものです。

私は、戦後間もない少年のとき、この本に出会い、その魅惑的な題名とともに、ハドソンの名はなつかしく心にひっかかっていました。旧仮名づかいのまま再版された本書に再会したのは、それから30年近くたってのことです。

その鮮烈な感動は、私の少年期の遠い山里での生活と鳥の記憶をよみがえらせ、自然の中で鳥を見る喜びを教えてくださいました。

「桃が咲ききってからは、凡ての木のうちでポプラが一番激しく新しい季節を感じてい

るように見えました。……続いて他の樹々も萌え初め、やがてどの樹もすっかり青葉に包まれ、遠い北の熱帯の森から訪ねて来る、もの珍しく美しい賓客を待ちうける仕度をするのです」。老年のハドソンにも鳥を待つ情熱はおとろえませんでした。

訳者はあとがきで、「私は、朝まだき家の前に舞いおりる小鳥にも、早春萌え初めたポプラのさざめきにも、今までになかった深い心を寄せることをハドソンから教えられました」と書いています。

ハドソンは、別の『鳥と人間』の中でも剝製や卵の収集を「人間の知性に対する一つの侮辱である」と告発し、自然の贈り物に共感し感嘆する、すばらしい鳥の見方を教えてくださいました。

たしかに、鳥を見ること、そして鳥を想うことさえ、人生の重荷を軽くしてくれるのです。

(編集部㊦：為貞さんは熱心な会員で、国内ばかりでなく、海外でのバードウォッチングも経験されています。同人雑誌の編集も手がけておられます)

### 野鳥を見に行つて

私は、あまり鳥にはきょうみがなかったけど、野鳥を見に行つてから、鳥が好きになりました。バードウォッチングに行つてとても良かったと思います。知らなかった鳥を見たからです。

シラコバトが、埼玉県のみどり県鳥で、特別天然記念物になっていることを教わりました。

家に帰って図かんを見て、埼玉県以外の県の鳥を調べてみました。いろんなことがわかりました。また、探鳥会に参加して勉強したいと思います。

三室小5年 久住 幸子

(編集部㊦：久住さんは今回友だちと4人で、浦和市立郷土博物館の野鳥観察会に参加しました)

## 野 鳥 情 報

- タゲリ ◇4月1日、桶川市江川中流域、1羽(長野博行)
- アオバスク ◇4月12日、熊谷市高城神社(今井昌彦) ◇5月13日、上尾市八枝神社(宮司=福田正二郎)
- マミチャジナイ ◇4月29日、桶川市江川上流、♀1羽(長野博行)
- サンバ ◇5月5日、北本市農事試験場跡地上空、2羽(長野博行) ◇5月19~20日、浦和市三室地区、1羽(探鳥会で)
- アオゲラ ◇5月5日、大井町、♂♀1羽ずつで繁殖行動(松田喬)
- オオルリ ◇5月6日、寄居町円良田湖、♂1羽(石井生高) ◇5月17日、浦和市北原地区、さえざり(北川佐)
- ホトトギス ◇5月11日、寄居町桜沢(石井生高) ◇5月25日、浦和市本太の農家屋敷林(藤野克裕) ◇6月1日夜、浦和市大東、鳴きながら上空通過(清水)
- ツグミ ◇5月14日、熊谷市河原町ラグビ-場、1羽(今井昌彦)
- キビタキ ◇5月17日、浦和市北原地区、♂1羽 / 5月18日、同所、さえざり少し(北川佐)
- アカエリヒレアシシギ ◇5月20日(大麻生探鳥会で)
- サンコウチョウ ◇5月25日、寄居町桜沢(石井生高) ◇6月4日、浦和市三室大古里(中島浩) ◇6月7日、浦和市中尾(草間和子)
- カッコウ ◇5月27日、浦和市秋ヶ瀬地区、3羽(海老原美夫)
- アカショウビン ◇6月3日午前5時~5時40分、寄居町玉淀湖南岸で鳴く(田村照治)
- ★訂正とおわび 創刊号「野鳥情報」の埼玉野鳥研による5月12日、アカアシシギは、残念ながら、ツルシギの誤報でした。(お願い:野鳥情報を、事務局までどしどしお寄せください)

### 会員の声

自然の中で、自由に遊ぶ野鳥を知ってもらおうと、吉川町内で子どもたちとの探鳥会を計画中です。ご協力をぜひお願いいたします。

吉川町・戸張勝弘

今井昌彦氏をはじめ鈴木忠雄先生、海老原さんなど各役員のご努力により、埼玉県支部が再発足し本当に嬉しく存じます。ホッとしたりという所で胸のつかえが取り除かれ、喜んでおります。たとえ一週間に一度でもよい、数時間でも電話番ぐらいならお手伝いできると思います。祈支部発展!

所沢市・小林隆資

横山みどりさんから、すばらしいお手紙をいただき、とてもうれしく思っています。今後とも鳥友達として、時々お会いできるのを、楽しみにしています。そのような輪のひろがりこそ、私たちの求めているものではないでしょうか。

大宮市・松井昭吾

こんにちは!

お気軽にお送りくださいとの事なので、マ

ンガチェックなカットをお送りします。よろしかったら、おのせくださいませ。ちょっとふざけすぎだったかな。

これからも、「しらこぼと」期待しています。

がんばってください。

川口市・子雀みゆき(15才)

僕は子雀みゆきの弟です。5月に野鳥の会に入ったばかりです。「しらこぼと」がんばってください。

ムクドリ

川口市・椋鳥達也(11才)

### 野鳥の声テレホンサービス実施中

浦和の電話局から、解説付き「野鳥の声」を流しています。野鳥の声は、日本野鳥の会東京支部・蒲谷鶴彦副支部長の録音によるものです。

電話番号 ☎0488-32-9595(いつでも)

<<日程>>

7月2日~15日=オオヨシキリ 7月16日~29日=アオバスク 7月30日~8月5日=ウミネコ 8月6日~19日=コノハズク

## みんなで行こう 探鳥会

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。  
当日受付です。予約申し込みは必要ありません。

筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば  
双眼鏡（なくても大丈夫）、などを御用意  
下さい。小雨決行です。

参加費は、一般100円、会員と中学生以  
下は50円です。

05着/東武東上線志木7:38発→川越7  
50発→森林公園乗換→寄居8:45着→  
秩父鉄道乗換寄居8:48発→長瀨9:05着  
/秩父鉄道お花畑8:17発→長瀨8:41着)  
何と、暑い最中に山に登ります。トリさん  
達、その苦勞にむくいてくれますか。

7月8日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川  
午前9時寄居駅南口集合(大宮7:31  
始発→熊谷8:10着→乗換秩父鉄道熊谷  
8:19発→寄居8:48着/東武東上線志  
木7:38発→川越7:50発→森林公園乗  
換→寄居8:45着/八高線東飯能7:37  
発→寄居8:39着)午後2時頃解散、河  
原の釣糸をひろいながら、ササゴイ、イ  
カルチドリ、カワセミなどを。運が良け  
ればヤマセミも。

7月8日(日) 北本市 農事試験場跡地  
午前9時高崎線北本駅西口集合(浦和  
8:27発→北本8:54着/熊谷8:20発→  
北本8:39着)午後2時頃解散、サンバ、  
サンコウチョウ、カワセミを期待。

7月15日(日) 浦和市 三室地区  
午前8時15分北浦和駅東口(熊谷7  
:19発→大宮8:02→京浜東北線のりか  
え)又は午前9時浦和市立郷土博物館  
(共催)前集合、参加費無料 午後1時  
頃解散 浦和市郊外、見沼の夏鳥達を観  
察。

8月5日(日) 宝登山(秩父愛鳥会共催)  
午前9時秩父鉄道長瀨駅集合(大宮7  
:31始発→熊谷8:10分着→乗換秩父鉄  
道熊谷8:19発→寄居8:48発→長瀨9:

8月19日(日) 浦和市 三室地区  
午前8時15分北浦和駅東口又は午前  
9時浦和市立郷土博物館(共催)前集合  
7月15日と同じ、参加費無料の定例探  
鳥会です。

8月26日(日) 熊谷市 大麻生  
午前8時30分秩父鉄道大麻生駅前集  
合(大宮7:31始発→熊谷8:10着→乗換  
秩父鉄道熊谷8:19発→大麻生8:29着/  
秩父鉄道寄居7:47発→大麻生8:05着、  
寄居8:22発→大麻生8:40着)12時頃  
解散 そろそろ渡りがはじまります。

8月27日(月) 大井野鳥公園  
平日探鳥会 午前8時川口駅ホーム中央  
付近、又は午前9時品川駅東口、又は午  
前9時30分現地集合、静かな平日の大  
井野鳥公園、2度目です。期待一杯です。

坂戸市中央公民館野鳥教室(共催)  
7月22日(日)と8月11日(土)は  
午前10時~12時、公民館で室内勉強  
会。8月5日(日)と8月12日(日)は、  
午前9時坂戸駅前集合、12時頃解散、  
高麗川付近等での探鳥会を予定。参加費  
無料。お手伝い頂ける方も募集中。  
お問い合わせとお手伝い申し出は支部事  
務局へ。受講御希望は公民館(電話0492  
-83-3822番)へ。  
坂戸市以外の方もOK。

## 探鳥会報告

5月20日 熊谷市 大麻生

人 30名 天気 晴

鳥 コサギ カルガモ コジュケイ キジ  
コチドリ イカルチドリ キョウジョシギ  
トウネン ヒバリシギ ハマシギ キアシシギ  
イソシギ アカエリヒレアシシギ コアジサ  
シ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ  
ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ オオ  
ヨシキリ セツカ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ カワラヒワ スズメ コムクド  
リ ムクドリ カケス オナガ ハシボン  
ガラス ハシブトガラス 以上34種

5月20日 浦和市 三室地区

人 56名 天気 晴

鳥 カイツブリ アマサギ コサギ カルガ  
モ サシバ コジュケイ キジ コチドリ

クサシギ シラコバト キジバト ヒバリ  
ツバメ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨ  
シキリ セツカ シジュウカラ ホオジロ  
カワラヒワ スズメ コムクドリ ムクドリ  
カケス オナガ ハシボンガラス ハシブト  
ガラス 以上28種

6月3日 嵐山町 都幾川

人 33名 天気 曇

鳥 ゴイサギ ササゴイ コサギ コジュケ  
イ コチドリ イカルチドリ キジバト  
コゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ セ  
グロセキレイ ヒヨドリ セツカ シジュ  
ウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ  
スズメ ムクドリ オナガ ハシボンガラ  
ス ハシブトガラス 以上23種

## 販売物のご紹介

定評のある日本野鳥の会のオリジナル商品  
などを販売しています。その収益は、支部活  
動費の一助となります。探鳥会や事務局など  
でお買い求めください。

### オリジナル書籍

バードウォッチングガイド、日本の探鳥地777  
第2巻関東・中部編……この一冊があれば、

コースを知る力強い味方。新発売。1400円

フィールドガイド、日本の野鳥……野鳥図鑑  
の決定版。3200円

野外観察ハンドブック、山野の鳥、水辺の鳥  
……野外観察図鑑のロングセラー。ポケッ  
ト版。各500円

バードウォッチング、野鳥と出会うために…  
…バードウォッチングって何？ やさしく  
教えてください。850円

野鳥識別ハンドブック……よりたしかな識別  
を求めるあなたに。1900円

### オリジナル商品

アイラブTシャツ 2000円

アイラブキャップ 2300円

アイラブハット 2500円

アイラブサンバイザー 1000円

アイラブBIRDSバッチ 200円

バードバッチ(各種) 300円

ウェストポーチ……探鳥会でリーダーが腰に  
つけているあのステキな図鑑入れです。新発  
売2000円

### 委託販売

埼玉大学野鳥研究会発行、鳥類観察報告、第  
8巻、第9巻 豊富なデータ満載で各700円

### 実費でおわけします

渡辺朝一著 大久保農耕地のシギ・チドリ類  
1500円 限定5部

石井智・海老原美夫・西城戸司著 浦和付近  
の野鳥 200円 限定100部

### その他

『野鳥』誌5月号のバードカタログをご覧ください。  
支部事務局にご相談ください。

## 連絡帳

ボランティア、原稿など続々と

ボランティアのお申し出と、支部報『しらこばと』の原稿を続々いただいております。

勤め帰りにちょっと、事務局へ寄ってみたら夜8時過ぎまで『しらこばと』創刊号の発送を手伝わされちゃったMさん、毎日のように事務局へ通ってくださるKさん、探鳥会の手助けを申し出てくれたNさんIさん、すばらしいイラストを持参してくれたTさんや、マンガチックなカットを送ってくれたMちゃん……。とても全部は書き切れません。本当にありがとうございます。

今後とも、よろしく願いたします。

### 会員数急増中

6月20日現在で、310名に及んでいます。ちょうど300人めの山口義夫さん(所沢市)には、記念品をお送りしました。次は400人め、いつ、どなたになるでしょうか。

ご寄付にお礼

次の方々からご寄付をいただきました。

(敬称略・50音順)

秋ヶ瀬探鳥会(5/6)参加者1,920円、大麻生探鳥会(5/20)参加者1,150円、小林隆資3,000円、関口事務機株式会社=複写機1台と消耗品など一式、田村照治10,000円匿名100,000円、長野博行4,100円、西城戸司=書籍多数、森本国夫2,000円、寄居探鳥会(5/13)参加者700円、嵐山町探鳥会(6/3)参加者900円、渡辺朝一3,000円(以上金額のみで計126,770円)

その他にも、実に多くの方々のご善意、労力、能力、時間などが寄せられています。心から感謝しております。

埼玉新聞に「埼玉の野鳥」が掲載中

埼玉新聞からの依頼で、支部会員の手になる「夏鳥」の写真と解説を30通渡しました。

本紙が皆さんのお手元に届くころには、同紙に連載されているはずですが、7月末ごろまでのシリーズ物です。

今回は、日程などが間に合わなかったこともあって広く皆さんに呼びかけることができませんでしたが、今後も企画予定があるとのことです。皆さんの力作を現在お待ちしております。

### 事務局日誌

5月21日 事務局会議(今井支部長来所)

5月24~25日 「しらこばと」発送

5月26日 支部長声のメッセージ(全国大会)

5月28日 編集会議(7月号原稿依頼)

5月30日 秩父愛鳥会会長・副会長来所

6月8日 第2回役員会議(熊谷・今井旅館)

6月9日 編集会議、事務局会議

6月16日 編集会議、事業部会議

(NHK浦和放送局取材)

### 編集後記

「しらこばと」(創刊号)に対して、皆様から多数のお手紙やお電話をいただきました。原稿の山と限られた紙面をながめ、編集作業の連続。いささか疲れたところへ、みゆきちゃんと達也君からのセンスのあるカットをいただき、感激する。

支部設立1か月半余りで、会員数も300名を越えボランティアの申し出も着実に増加。心の会での会員相互のつながりを深めたい。(6月16日 西城戸司)

題字「しらこばと」：日本野鳥の会会長・山下 静一

『しらこばと』

1984年7月号(第2号)

頒価100円(会費に含まれます)

発行人 今井 昌彦

発行所 日本野鳥の会埼玉県支部

発行所事務局 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号ブリムローズ岸町107号

電話 0488(32)4062番

郵便振替 東京9-121130 銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金 316990

印刷所 埼玉印刷株式会社

(無断転載を禁じます)